

太子町地域公共交通に関するワークショップ

【聖和台・磯長台地域 第3回】 【畑・山田地域 第2回】

(まとめ)

1. ワークショップの開催日程

【聖和台・磯長台】

	開催日	参加人数	テーマ	内容
第1回	2018年 10月7日 (日)	64名	現況の課題と公共交通の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の公共交通について考えよう ・どんな公共交通が欲しいのかを考えよう
第2回	2018年 11月23日 (金《祝》)	52名	運行にむけての具体的な計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実証運行に向けたルートを考えよう ・公共交通を走らせる際の問題点がないか考えよう
第3回	2019年 2月9日 (土)	55名	自分たちができること	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点での乗り換えについて考えよう ・みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう

【畑・山田】

	開催日	参加人数	テーマ	内容
第1回	2018年 11月17日 (土)	21名	現況の課題と公共交通の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の移動について考えよう ・どんな公共交通が欲しいのかを考えよう
第2回	2019年 2月10日 (日)	15名	自分たちができること	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点での乗り換えについて考えよう ・みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう

2. ワークショップの結果

(1) 第3回ワークショップ【聖和台・磯長台】

①開催概要

日時	2019年2月9日（土） 午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：00～16：00
参加者	55名
場所	万葉ホール
方法	午前、午後で5～6グループに分かれ、KJ法により、意見カードを模造紙に貼り、整理。最後に、模造紙を使って参加者全員で検討した内容をグループごとに発表しあう。

②次第

午前の部	午後の部	実施内容
10：00～	14：00～	【開会】 ・開会のあいさつ ・事務局スタッフの紹介 ・スケジュールについて説明
10：10～	14：10～	【前回のおさらいと今回のワークショップについて】 ・前回のワークショップのおさらい ・本日のワークショップの進め方について説明
10：20～	14：20～	【グループワーク】 ・グループごとに意見交換を実施 ・メンバーの自己紹介 ・『拠点での乗り換えについて考えよう』 役場周辺を拠点とした太子町の公共交通について議論します。 ・『みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう』 持続的な運行とするため、みんなができる利用促進方法を議論します。
11：20～	15：20～	【発表・共有】 ・各テーブルの結果を報告し共有（1グループ5分程度）
11：50～ ～12：00	15：50～ ～16：00	【閉会】 ・閉会のあいさつ ・次回ワークショップの案内

③ワークショップの結果まとめ

■拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	33
1回の乗車時間が短い。	27
拠点に行けば、いろんな行先がある	33
コストを下げやすい	7
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	23

デメリット	
乗り換えがおっくう	19
運賃を2回払わなければならない	28
目的地まで時間がかかる	12
乗り換えがうまくいかない場合がある	20
初めての人にはわかりにくい	6

カテゴリー	意見
料金について	フリーパス券があれば
	乗りかえ割引
	運賃2回については他の対策もある
	2回運賃は対策が必要である
	往復券もある
	乗換券を使って1回分でいけるように 運賃2回でも安ければいい
役場拠点について	人があつまることも期待できる
	人があつまる(休けい)施設もつくる
	役場前にバス停をつくる
	役場までのバスが増便になれば利用者はふえる
	役場中心は賛成
	ただの乗り換えの場所だけではにぎわいは生まれない 行き先が少ない、そんなに必要ない
乗換箇所について	和みの広場でのりかえもよい しなが小学校前を拠点にできないか?
乗り換えについて	乗り換えをスムーズにする 乗りかえ情報をわかるように
福祉センターについて	福祉センターへの利用も高まる 福祉バスとその今後の心配 福祉バスとの共存はしやすくなる
他地域について	畑地区の人は不便なのは
ピストン	ピストンにすればニーズが明確化する ちょこちょこしたピストンのかえって効率が悪い まだ具体的な問題がわかりにくい
その他	やってみないとわからないがこの案も可能性はある
	両方あってもよい?
	聖和台の中にはいってほしい
	親しくなる
	情報が集まる
	わざわざ乗りかえてまで使わない 利用者の時間別の利用あるからベストのダイヤが組める

■ 商業施設へのアクセスについて

アクセスについて	
商業施設には直接いかないルート	20
商業施設に直接いくことができるルート	4

カテゴリー	意見
商業施設には直接いかないルート	商業施設はルートあまり必要性はない
	商業施設に行く用事がない
	短い時間で動ける方がいい
	大きな荷物もって乗換は大変
	サンプラザに行く（時間短い方がいい）
	商業施設の近くにバス停が欲しい
	時間がかかってしまう
商業施設を利用する回数が少ない	
商業施設に直接いくことができるルート	乗り換えはイヤだ
その他の意見	時間帯次第
	役場とカインズの送迎車
	機会ができるしにぎわう→商業施設がくる？
	中央線のみでよい（役場まで）
	どちらかは決められない
	2コースを時間帯によって使い分け
	サンプラにつぶれてほしくない
	喜志駅までむすんでほしい（商業施設にとまらずに）
日常の食品を買うにはなじまない→バスでは使わない	

■ 自分たちにできること・利用促進について

カテゴリー	意見
料金	送迎バスは有料に
	定期の発行
	乗車ポイントカードの利用
	高齢者用定期をつくる
	高齢者にチケット配布
	高齢者は無料にする
	高齢者やからと無料にする必要はない
	回数券発行、有効期限がある。
負担	運賃は「0」円がいいが、無理なら100円まで
	住民が寄付
	各世帯あたり月2000円回数券を買う
時刻表	1世帯当り負担金を出す
	バスマップを駅に置く
	バス時刻表の全戸配布
啓発活動	バス停に主要駅までの（あべの橋など）時刻表配布
	啓発のぼりを立てる
	目標数はみんなに知らせる
個人でできること	一世帯に無料券を配る。きっかけづくり
	所持するバイクを廃止する
	（重要）個人がいかん利用するかを考えること
	今、車で行っているがたまにはバスにのる
	雨がふると乗りたい
	友だちと話し合っ一緒に行く
	ひとりでも多く乗る！
	送りむかえをやめる（マナーがわるい）
	自家用車の生活を切り換える
免許を返納する	
バス停まで歩くことが健康へつながる	

カテゴリー	意見
観光	えい福寺（遠方からお墓参り）とコラボレーション
	寺にもメリットができるような仕組みを考える
	他県から来る人によく解るように駅に大きなバス地図を置く
	太子町観光地めぐりの日でもつくって、その日はバスガイドをつける（イベント）
バス停	月1回位ボランティアのガイドを募集
	住民でバス停を決める
	バス停きめるときに金剛バスと話し合い
	地域でバス停の美化につとめる（そうじ、花をかざる）
	ベンチを作る
自治会	屋根を造る
	自治会を利用して呼びかける（乗った人数とか）
	回覧板に時刻表をつける
	自治会会報にのせる（時刻表をのせる）
団体・会	自治会内での周知・宣伝活動
	利用状況の回覧
情報発信	バス友の会をつくる
	公民館、図書館で利用したくなるような宣伝
	羽曳野（飛鳥）の人も太子町へ
	周辺市町村へのピーアール
	楽しいチラシを作り配布する
	通学の学生に宣伝する
	通勤客をささう
	市民にバスがあることのメリットをみせる
	車をもっているよりもバス利用の方がやすい
	バスが行ってしまったという情報が欲しい
	バスの位置がわかる表示
	バス通信をだしてもっと乗ってもらう
	乗車人数をお知らせする
	観光PR
	町外へ発信
仕組みづくり	観光ガイドボランティア
	健康マイレージのポイントを（自治会、個人）回数券に交換できる
	バスにのったら、ぶどう、みかんなど直売所の地場産品の値引き券とか
	女性DAYとか子どもの日とか無料の日をつくる
	テーマソングを募集する
	スタンプラリーをつくる（サンブラザ、他のスーパー、ラムー、カインズ連携）
バス	上ノ宮太子とコラボ（今、上ノ太子からスクールバス）
	バスの中をギャラリーに（太子町自慢）
イベント	子どもの絵の展示
	標語をはる
	バス待ち時間を有意義にすごせるよう万葉ホールでイベント（音楽とか）
	聖徳市でイベントをする
	出たくなる（バスに乗る）ようなイベントの企画。たとえば古墳めぐりなど
	若者が利用したくなるイベントや施設の企画
	ワイン祭りの開催
	自治会活動などバスを使ったイベントを提案する
	ゲートボール（葉室）の利用をバスで使うようにする
「しょうとく市バスにのって行きましょう」とよびかけ	
安全安心	なごみの広場を活用することでバス乗車数をふやす
	イベント車（カラオケ）を企画
バスに愛着	路上駐車注意喚起
教育	キャラクターをつくる
	バスに乗ることで子どもへの教育もよい
目的地	あいさつをする
	目的地があればもっと乗る→町の中で楽しいことを増やす
	目的地をつくる（病院がほしい）
	飲むところをつくる

カテゴリー	意見
その他	中央線 40km 制限の見直し
	利用調査は市民がつける
	役場付近をもちあげる
	車よりも乗りやすい制度をつくる
	事業者と太子町のタイアップ
	住民のアンケート
	駅前パーキングを小さくする
金剛バスへの要望	バス停わかりやすくしてほしい
	電車とバスの時間を合わせる
	商業施設まで往復 300 円（片道 200 円）（聖和台⇄カインズ）
	乗りつぎ券を出して手間かからない
	家族割引
	通勤、通学時間帯ふやす
	始発時間帯とかも配慮
	回数券で割引制度（2 回分オトクとか）
	定期券発行
	バリアフリーのバスにする
	時刻通りバスが走る

(2) 第2回ワークショップ【畑・山田】

①開催概要

日時	2019年2月10日（日） 14:00～16:00
参加者	15名
場所	交流センター
方法	3グループに分かれ、KJ法により、意見カードを模造紙に貼り、整理。最後に、模造紙を使って参加者全員で検討した内容をグループごとに発表しあう。

②次第

時間	実施内容
14:00～	【開会】 <ul style="list-style-type: none">・開会のあいさつ・事務局スタッフの紹介・スケジュールについて説明
14:15～	【太子町地域公共交通とワークショップについて】 <ul style="list-style-type: none">・太子町における地域公共交通について説明・本日のワークショップの進め方について説明
15:00～	【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none">・グループごとに意見交換を実施・メンバーの自己紹介・『拠点での乗り換えについて考えよう』 役場周辺を拠点とした太子町の公共交通について議論します。・『みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう』 持続的な運行とするため、みんなができる利用促進方法を議論します。
15:40～	【発表・共有】 <ul style="list-style-type: none">・各テーブルの結果を報告し共有（1グループ5分程度）
15:50～ ～16:00	【閉会】 <ul style="list-style-type: none">・閉会のあいさつ・次回ワークショップの案内

③ワークショップの結果まとめ

■拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	12
1回の乗車時間が短い。	10
拠点に行けば、いろんな行先がある	15
コストを下げやすい	3
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	13

デメリット	
乗り換えがおっくう	15
運賃を2回払わなければならない	10
目的地まで時間がかかる	8
乗り換えがうまくいかない場合がある	15
初めての人にはわかりにくい	6

カテゴリー	意見
料金について	運賃2回はやり方の工夫ができる (運賃2回) 乗りかえりびき・1回で
	支線は無料で
案内について	観光客は案内があればよい
	情報・案内しっかりする
	乗りかえアプリがあればよい
役場拠点について	分かりやすい情報が大切
	拠点なのでとりあえず役場まで行ってくれたらよい
	拠点には休憩できるかいものもできる
	拠点に快適な施設
福祉センターについて	福祉センターは現状の回り方でよい
	福祉バスは通行の方がよい
	現状のルートとこの案の併用が望ましい
乗り換えについて	のりかえしやすくする
	便数が増えるが待ち時間は？
その他	運行方法よりルートが重要
	定員がオーバーした時は？
	ないよりある方がよい

■支線交通のニーズについて

カテゴリー	意見
使用する場面	運転できなくなったとき
	買い物に行くとき
	旅行に行くとき
	お酒を飲むとき
	高齢、障がいのため
	役場に行くとき
	家族が送迎できないとき
	コンサートに行くとき
	美術館に行くとき
	定期的な通院
	買物、病院
	病院に行く時、1人では行けないので
	通院の時、買物に出かけたい者
	役場、公民館、郵便局、スーパー、上の太子駅
	郵便局
	農協

カテゴリー	意見
上ノ太子駅へのニーズ	月に1回
	3カ月に1回
	年に1回
	家族(子ども)毎日
	週1
	2、3カ月1回
	車、喜志、バス、喜志駅利用が多い
	喜志が多い
	あまり使わないが上の太子は自転車、バイク通学がメイン?
	通勤90%上ノ太子駅
	利用は少ない
	町内にない病院(月1、2回利用)
	バスは喜志へ行く方が多い
	①送迎②自分で運転
	通学、上ノ太子が多い、
自転車	
雨は送迎	
バスも若干	
利用する人	免許を持たない高齢者等
	1人で動けない人
	私の免許証返上に備えてマイカー利用を少し制限するため歩いてスーパーなどに行くのに歩行困難な方
	高齢者車に乗らない人
将来について	将来運転できなくなったときに心配
	使わざるを得ない状況になる
	子どもが大きくなると送ってもらえる人がいなくなる
その他	たすけ合いも将来人がいなくなる
	飲酒で出かけた時(終電までバス運行)
	福祉センター1日約100名利用あり、現状のバス運行希望
	ニーズはある
	役場の支所をつくる(行かなくてすむ)
	通学もニーズはある

■自分たちにできること・利用促進について

カテゴリー	意見
料金	お得な回数券の導入
	スマイルポイントと回数券の交換
負担	町会ごとに負担金を出す
	利用者が一部、費用負担する
時刻表	時刻表の全戸配布
啓発活動	いきいきサロンでの報告、公報
個人でできること	住民が乗る
	役場や公民館での行事にバスを利用していく
観光	観光資源とタイアップして、イベントづくり
	日本遺産を生かした方法
バス停	バス停の清掃
	バス停協力
自治会	町内会での周知
	町内会にはパワーがない(イベントできない)
団体・会	知り合いができる(バス友)、便利、出かけやすくなる
情報発信	情報の周知徹底
	太子町アプリでのりつき情報を表示する
	地域でバスのことを知らせる、ロコミ!
	地域版の広報をつくる。バス停単位
バス	イベントでの利用案内
	子どものマンガの本を入れる。カラオケ入れる。
	イベントのお知らせをバス停に貼る
	バスのデザインなどバスに乗る楽しさを考える(例)ネコバス
	バスの中に作品や情報を掲示する
	楽しいバス停、屋台とか楽しめるもの

カテゴリー	意見
イベント	役場の用事的时候はスタンプラリーをする
	車に乗らない「チャレンジデー」を決める
	イベントをする
	バスを利用しないといけない、イベントをする
	バスの中でたのしいことを行なう
	社会見学など参加型イベント
	車でいけないイベントの開催
	でも出掛けたくなるイベントでないと
教育	子どもがのりたくなる
その他	小型のバスでコスト削減
	便数については畑、山田の状況をふまえてダイヤを組む
	バス停毎の定時発車にする
	小さいバスにする
	畑地区のバス停まで行きにくい。(利用しないと思う)
	畑地区はデマンドワゴン残してほしい
	増便する